

LSI Embedded MegaRAID使用時の注意事項

SMARTエラー誤検出について

LSI Embedded MegaRAID™を使用しているWindowsシステムにおいて、RAIDドライバのバージョンが13.15.1218.2009以前の場合、SMARTエラーを誤って検出し、以下のログが登録されてしまう場合があります。

ソース:raidsrv
ID:305

<RU0305> [CTRL:1(ID=X) PD:X (ID=X SLT=X) YYYYYYYY] S.M.A.R.T.エラーを検出しました。
※Xには数値、Yにはデバイス名が入ります。これらの値は環境により異なります。

本問題は13.21.614.2010以降のVersionのRAIDドライバで修正しています。最新版のRAIDドライバをインストールしてください。

Express/100シリーズ/600シリーズ/BladeServerの場合

<http://support.express.nec.co.jp/dload/420031-A01/index.html>

Express/50シリーズの場合

<http://support.express.nec.co.jp/dload/411296-A01/index.html>

対象装置:

Express5800/110Ge, 110Ge-S, GT110a, GT110a-S, GT110b, GT110b-S, 120Gd, GT120a, GT120b, 110Ri-1, i110Ri-1, iR110a-1H, R110a-1, R110b-1, R110c-1, 110Ei, T110a, T110b, T110c, E110b-1, 120Rh-1, i120Ra-e1, R120a-1, R120a-1E, R120b-1, 120Ei, T120a-E, T120b-M, T120b-E, E120b-1

Express5800/B120a, B120b, B120b-Lw, B120b-h

Express5800/51Lf, 53La, Y53La, 53Xe, 53Xf, Y53Xf, 54Cc, 54Cd, 54Xf, 54Xg, Y54Xg, 56Xe, 56Xf, Y56Xf

Express5800/V620xi-st, V620xi-s, V620xi, V608-L, V608-H

iStorage NS27P, NS28P, NS100Ta, NS500Ba

対象RAIDコントローラ:

本体装置オンボードのRAIDコントローラ(LSI Embedded MegaRAID™)でMegasr.sys/Megasr1.sys :Version

13.15.1218.2009以前をご使用の場合

(管理者権限のあるユーザでログインし、エクスプローラから%SYSTEMROOT%\SYSTEM32\DRIVERS\Megasr.sys(Windows Server 2003/ Windows XPの場合) もしくはMegasr1.sys(Windows Server 2008/2008R2/Windows Vista/ 7 の場合)のプロパティを開き、詳細タブ/バージョン情報タブからご使用されているドライババージョンを確認してください。)

SMARTエラーが実際に発生しているかどうかの見分け方(1):

Universal RAID UtilityでSMARTエラーを検出した場合、以下の手順により実際にSMARTエラーが発生しているかを確認してください。

手順はRAIDドライバのバージョンにより異なります。

実際にSMARTエラーが発生している場合には、一定間隔でSMARTエラーのイベントがログに登録されますが、本問題に該当している場合、間欠でSMARTエラーを示すイベントがログに登録されます。

1)RAIDドライバのバージョンが、9.27.1206.2007, 9.32.207.2008, 9.33.416.2008, 9.34.820.2008の場合

(1)エクスプローラなどから<URUのインストールフォルダ>%Server%raidconn-storelib.logを開きます。

(2)該当時間に以下のようなイベントが登録されていることを確認します。

2011/07/06 23:57:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1※

(※PD番号は環境により異なります。)

以下のように10分おきに複数回「Predictive failure」のログが登録されている場合は、実際にSMARTエラーが発生していますので、**ハードディスクの予防交換を検討してください。**

2011/07/06 23:37:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1

2011/07/06 23:47:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1

2011/07/06 23:57:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1

・

・

以下のように1回のみ「Predictive failure」のログが登録されている場合には、**ハードディスクの交換は不要です。**

2011/07/06 23:37:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1

SMARTエラーが実際に発生しているかどうかの見分け方(2):

2)RAIDドライバのバージョンが、11.4.915.2008、13.11.922.2009、13.15.1218.2009の場合

<システムの再起動が実施できる場合>

SMARTエラーのイベントが登録された後、システムを再起動を実施して、再度SMARTエラーのイベントが登録されるかどうかを確認します。

再起動を実施してから10分以上経過した後、URUのログビューアからSMARTエラーのイベントが登録されているか確認してください。

(OSを再起動してから、SMARTエラーが検出されるまで、約10分かかります。)

再度、SMARTエラーのイベントが登録された場合には、実際にSMARTエラーが発生していますので、ハードディスクの予防交換を検討してください。

SMARTエラーのイベントが再登録されていない場合には、ハードディスクの交換は不要です。

<システムの再起動が出来ない場合>

(1)<URUのインストールフォルダ>¥Server¥raidconn-storelib.logを開きます。

(2)該当時間に以下のようなイベントが登録されていることを確認します。

2011/07/06 23:47:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1※

(※PD番号は環境により異なります。)

以下のように、上記のイベントが最初に発生してから、同じPD番号で2度目のログが登録されるまでの時間が24時間10分の場合、実際にSMARTエラーが発生していますので、ハードディスクの予防交換を検討してください。

2011/07/06 23:47:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1

2011/07/07 23:57:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1

(ただし、途中で24時間10分以内にシステムを再起動した場合には、再起動してから約10分前後のログを確認してください)

以下のように1回のみ登録されている場合には、ハードディスクの交換は不要です。

2011/07/06 23:47:59.622 [EV] Predictive failure: PD 1

3)RAIDドライバのバージョンが13.21.614.2010以降の場合

SMARTエラーを誤って検出することはありません。SMARTエラーがUniversal RAID Utility のログに登録された場合には、ハードディスクの予防交換を検討してください。